

# 日本情報考古学会第29回大会プログラム

日時：2012年3月24日(土)、25日(日)

会場：龍谷大学大宮キャンパス内 北翼2階・202室

大会実行委員長：河嶋壽一(龍谷大学理工学部)

## 3月24日(土)

13:00-13:10 開会挨拶 大会実行委員長 河嶋壽一

### 一般講演

研究発表1 13:10-13:35

3次元デジタルデータによる版木からの版本作成の試み  
河嶋壽一・坂井直貴(龍谷大学)

研究発表2 13:35-14:00

高速三次元コピー機の提案と考古学への応用  
—第1報 三次元形状の高速・高精度計測—  
森本吉春・柗谷明大(4Dセンサー株式会社)

研究発表3 14:00-14:25

鹿児島県三島村における考古学的・博物館学的実践—  
三次元レーザースキャナを用いた物質文化の記録とその  
利用を中心に—  
平川ひろみ・河宿田好見(鹿児島国際大学)・  
太郎良真妃・江神めぐみ・  
中村有希(鹿児島国際大学大学院)・  
中園 聡(鹿児島国際大学)

—休憩 14:25-14:35—

研究発表4 14:35-15:00

経年変化を考慮した重色モデルによる金銅仏表現  
山本龍吾・芝 公仁・岡田至弘(龍谷大学大学院)

研究発表5 15:00-15:25

仏像の造像様式に関する数量分析—平安後期・鎌倉期  
の造像明記のある仏像を対象として—  
久保乃乃(同志社大学大学院)・  
村上征勝(同志社大学)

研究発表6 15:25-15:50

高低差をともなった地形に構築された墳丘の分析  
西村 淳(函館大学)

研究発表7 15:50-16:15

前方後円墳における噴丘形の考察IV  
—古墳測地法の数理は、有機的に出土鏡の採寸法に関  
係するか—

竹内啓二

—休憩 16:15-16:20—

### 特別講演

16:20-17:20

遺跡資料リポジトリ—現状と課題—

昌子喜信(島根大学附属図書館)



17:25-17:35 学会賞授賞式

—懇親会 18:00-20:00—

## 3月25日(日)

### 一般講演

研究発表8 10:00-10:25

土器製作者個人同定のための諸方法—土器表面痕跡の  
三次元マッチングと蛍光樹脂含浸法による粘土帯接合  
痕の可視化を中心に—

中園 聡(鹿児島国際大学)・  
平川ひろみ(鹿児島国際大学大学院)

研究発表9 10:25-10:50

多変量解析を用いた土器様式変化のプロセス—南西諸  
島縄文後期前半の仲泊式土器と面縄東洞式土器を素材  
として—

平良理揮(鹿児島国際大学大学院)

— 休憩 10:50-11:00 —

**特別講演**

11:00-12:00

情報社会と報告書問題 (仮題)

森本和男 (千葉県教育振興財団)



研究発表11 13:25-13:50

遺跡景観の記録とその活用

山口欧志 (国際日本文化研究センター)

研究発表12 13:50-14:15

天神七代・地神五代の神々の故郷は伊都国 (二報)

石井 好

研究発表13 14:15-14:40

漢鏡7期の鏡の不思議

石井 好

— 休憩 12:00-13:00 —

研究発表10 13:00-13:25

窯跡出土須恵器が持つ地質学的意味

三辻利一 (鹿児島国際大学)

14:40-15:00 総会

15:00-15:10 閉会挨拶 会長 植木 武

学会会場 (龍谷大学 大宮キャンパス) へのアクセス (龍谷大学 HP から抜粋)

[http://www.ryukoku.ac.jp/about/campus\\_traffic/traffic/t\\_omiya.html](http://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/traffic/t_omiya.html)

<http://www.ryukoku.ac.jp/omiya.html> (大宮キャンパス紹介)

所在地: 〒600-8268 京都市下京区七条通大宮東入大工町 125 番地の 1

※「京都」駅から西北へ徒歩約 10 分



- 「京都」駅から徒歩約10分
- 「京都」駅から市バス約5分
- 京阪「四条」駅から淀屋橋方面へ「七条」駅下車、徒歩約20分
- 阪急「河原町」駅から梅田方面へ「大宮」駅下車、徒歩約20分
- 阪急「河原町」駅から梅田方面へ「大宮」駅下車、市バス約5分

- ① 本館(重文) ② 北堂(重文) ③ 南堂(重文) ④ 旧守衛所(重文) ⑤ 正門(重文)  
 ⑥ 西堂  
 ⑦ 西堂別館 ⑧ 守衛所 ⑨ 清和館 ⑩ 東堂 ⑪ 図書館 ⑫ 清風館 ⑬ 白亜館